

令和3年度

絆



十七字で奏でよう

ふれあい支援事業

～ふくしまの 想いを繋ぐ 十七字～

【主催】
福島県教育委員会

ふるさと部門

絆部門



最優秀賞



最優秀賞

とりもどす 自然の光 ホタルの灯(子)
復興の 稲穂がゆれる 田園に(母)

友達と 歩く楽しみ 祇園祭(子)
遠き日の しゃんぎりの音 懐しく(母)

いもうとと 海まで競争 階段のぼり(子)
堤防の 高さの意味を 子に伝え(父)

秋祭り みんなで輪になり オラドッコイ(子)
安達太良の 秋空に舞う 囃子の音(母)

富岡で 一緒にすごす 夢かなう(孫)
桜咲き 家族が集う 避難元(祖父)

無観客 それでも私の 晴れ舞台(子)
頑張れと モニター見つめ 息をのむ(母)

息合わせ 奏でた夏の日 忘れない(友人)
残響音 しみてばやける 友の顔(友人)

とうさんの かおより大きい さつまいも(子)
「パパ見て」と 芋のすき間に 子の笑顔(父)

じいちゃんの うしのエサやり おてったい(孫)
菓はこぶ 孫の姿の たくましさ(祖父)

「うっせいわ」ねえお母さん「はら減った」(子)
「はいはいはい」それでも楽しい 反抗期(母)



優秀賞



優秀賞

震災を 明日へとつなぐ みらい館(子)
語り部の その一言が 胸に沁み(父)

料理する タコのラベルに 相馬港(子)
人々の 思いを紡ぐ 海産物(父)

2年ぶり 騎馬武者姿 勇ましく(孫)
駒音の 響く行列 宇多郷に(祖父)

ふるさとの まごころ込めて 送る桃(子)
会えずとも 喜ぶ顔が 目に浮かぶ(母)

ひまわりが 咲いているあき地 家がたつ(子)
なつ野菜 たわわに実る つなみあと(母)

絵手紙で 会えない祖母と 会話する(孫)
喜寿祝う 孫の絵手紙 宝物(祖母)

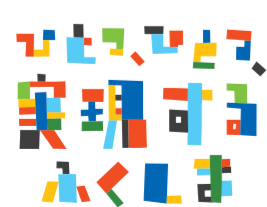
おふとんを そっとかけよう ねてるはは(子)
本当は おきていたけど ねてるふり(母)

父迎え 家族をつなぐ 盆ちようちん(子)
迎え盆 重なる影の 頼もしさ(母)

ラインより 心に届く 置手紙(子)
置手紙 空弁当の ありがとう(母)

夏休み 父は仕事で ぼくは主婦(子)
父子二人 失敗ばかりの 晩御飯(父)

お問い合わせ先



福島県教育庁 社会教育課

〒960-8688 福島市杉妻町2番16号(西庁舎4階)

TEL 024-521-7799

URL▶<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/70016a/>

社会教育課HP



社会教育課Twitter



協賛企業・団体(50音順)

会津中央乳業株式会社、株式会社岩瀬書店、株式会社ダイユーエイト、株式会社テレビユー福島、株式会社ナカジマエレテック、株式会社福島銀行、株式会社リオン・ドールコーポレーション、公益社団法人福島青年会議所、伊達物産株式会社、東信建設工業株式会社、福島中央テレビ、ふくしま未来農業協同組合、福島民報社、福島民友新聞社、有限会社吾妻印刷、酪王協同乳業株式会社

